



連続テレビ小説「なつぞら」の経済効果

1. 経済効果の試算の概要

本年4月1日から、北海道十勝を舞台とした、NHK連続テレビ小説100作目となる「なつぞら」が放映される。これに伴う北海道十勝管内の経済効果（生産を押し上げる効果）を試算したところ、約95億円となった。

—— なお、今回の試算は、過去の連続テレビ小説の舞台となった地域における観光客数の平均的な増加率を使用するなど、一定の仮定のもとで行ったものであり、試算結果については、相応に幅をもってみる必要がある。

経済効果	直接効果	間接効果
95億円	63億円	32億円

(注) 直接効果：「なつぞら」放映による観光客数増加に伴う観光消費の増加額のうち、十勝管内で生産される財・サービスにかかるもの。

間接効果：①直接効果の対象となる財・サービスの生産に必要な原材料等の増産など域内産業にもたらされる生産誘発額（1次波及効果）と、②直接効果および1次波及効果によって生じた雇用者所得の増加が消費に向けられることによって域内産業にもたらされる生産誘発額（2次波及効果）の合計額。

「なつぞら」の放映は、十勝の観光資源の魅力を道内外に幅広く発信する機会となる。足もと、官民一体となって様々なイベントやプロモーション活動が本格化しつつあるが、これらの取り組みなどを通じて、観光客の入り込みの増加や十勝産品への需要を喚起することで経済効果を拡大・持続させるとともに、十勝の観光の中長期的な発展につなげていくことが期待される。

2. 試算のポイント

(1) 試算の対象

今回の試算は、「なつぞら」放映に伴う観光客数の増加から生じる経済効果のみを対象に行っている。これ以外にも、例えば、通信販売などを通じて十勝産品への需要が高まることにより生じる経済効果も想定される。

(2) 試算方法・試算結果

技術的な試算方法および試算結果は以下のとおり（別紙参照）。

①観光客数増加率（+13.1%）

「北海道観光入込客数調査報告書」（北海道庁）など各都道府県・市町村の観光統計を用いて、2010年度から2017年度までの連続テレビ小説の舞台となった地域（三大都市圏を除く）における放映開始前後12か月間の観光客数の増加率を試算。これら増加率のうち、最高値と最低値を除き、平均値を算出。

②観光客増加数（497千人）

「平成29年度北海道観光入込客数調査報告書」（北海道庁）における北海道全体の観光入込客数の延べ人数と実人数の比率（宿泊客、日帰り客別）を用いて、十勝管内の観光入込客数の延べ人数から実人数（訪日外国人を除く）を試算。これに観光客数増加率（+13.1%）を乗じて、観光客増加数を算出。

③観光消費増加額（89億円）

「第6回北海道観光産業経済効果調査」（北海道庁）の個票データを用いて、宿泊客、日帰り客それぞれの一人あたり消費額を試算。これを、それぞれ宿泊客、日帰り客の増加数に乗じて、観光消費増加額を算出。

④直接効果（63億円）

観光消費増加額（89億円）を業種別に振り分けたうえで、「平成23年北海道内地域間産業連関表（63部門版）」（北海道開発局）における自給率を乗じて、直接効果を試算。

⑤間接効果（32億円）^(注)

「平成23年北海道内地域間産業連関表（63部門版）」（北海道開発局）を用いて、1次波及効果（21億円）、2次波及効果（12億円）を試算。

(注) 端数処理のため、合計と内訳が一致しない。

本稿の執筆は、日本銀行釧路支店の 高田 耕平 が担当しました。本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行釧路支店までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。

照会先：日本銀行釧路支店総務課（久保田、高田）

(TEL：0154-24-8102、FAX：0154-24-8152、e-mail：kushiro@boj.or.jp)

経済効果の試算に関するフロー図

